

令和5年度事業報告

1 交通事故の概要

(1) 道路交通事故の発生状況等について（以下、警察庁統計資料より）

令和5年に発生した道路交通事故については、事故件数は307,930件で、これによる負傷者数は365,595人、死者数は2,678人であった。これを前年同期と比較すると、新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類に移行し、社会経済活動が活発化したこともあり、発生件数は7,091件（2.4%）、負傷者数は8,994人（2.5%）、死者数は68人（2.6%）といずれも増加した。死者数について8年ぶりに増加に転じるなど、憂慮すべき状況にある。

死者数を事故発生の状態別にみると、「歩行中」、「自動車乗車中」、「二輪車乗車中」及び「自転車乗用中」の死者数が「死者総数」に占める割合は、それぞれ36.3%、31.3%、19.0%及び12.9%と、近年、同様の傾向が続いている。

また、年齢層別死者数では、特に65歳以上の高齢者の占める割合は平成24年以降全体の50%を超えており、令和5年も1,466人と全体の54.7%を占め、その人口構成率29.1%（令和5年9月時点）と比較しても約2倍となっており、依然として高い水準にある。

さらに、原付以上運転者（第1当事者）の死亡事故件数（2,348件）について法令違反別にみると、「漫然運転」、「安全不確認」、「運転操作不適」、「脇見運転」の順に多く、これら安全運転義務違反に係るもので全体の52.6%と過半を占めている。

(2) 林道における交通事故の発生状況について

林道における令和4年度の交通事故の発生状況は、第1表のとおりである。

第1表 林道における交通事故の発生状況

年度	民・国別	事故発生 件数（件）	死傷者数（人）		
			死者	負傷者	計
令和3	民有林林道	71	2	20	22
	国有林林道	9	1	0	1
	計	80	3	20	23
令和4	民有林林道	63	3	15	18
	国有林林道	13	0	1	1
	計	76	3	16	19
前年度比	増減（△）	△4	0	△4	△4

令和4年度の林道交通事故の発生件数は76件で、前年度から4件（14.3%）減少した。内訳としては民有林林道で8件減少する一方、国有林林道で4件増加

した。

死傷者数は全体で19人で、前年度から4人減少した。うち、死者数は前年度と同数、負傷者数は4人減少した。

死傷者数に対する死者数の割合は15.8%と前年度から増加しており、一般公道上の0.7%（令和4年）と比べても、いまだ林道上の事故の危険度が高いことを示している。

林道における交通事故の原因としては、「ハンドル操作の誤り」をはじめとする運転上の誤りや不注意によるものが全体の48%を占めている（第2表）。また、死亡事故の態様については主に路外逸脱による転落事故である。

林道の利用目的別の事故件数については、林業以外の利用目的（レクリエーション、その他）によるものの全体に占める割合が87%と、前年度と同様、高い割合となっている（第3表）。

また、林道の管理に瑕疵があったとして、林道管理者が損害賠償を求められた事故の発生件数は、民有林林道で25件、国有林林道で9件の合計34件となり、前年度から全体で5件減少した。また、総事故件数に占める当該事故件数の割合は、前年度の49%から4%減少し45%となった（第4表）。管理責任を問われる事故の発生割合は、平成20年度以降30%を超える水準で推移しており、引き続き林道施設の点検・診断、補修等を適切に実施していく必要がある。

第2表 林道における原因別事故発生件数と割合

事故原因	令和3年度		令和4年度	
	件数	割合	件数	割合
	(件)	(%)	(件)	(%)
スピードの出し過ぎ	0	0	5	7
ハンドル操作の誤り	19	24	17	22
ブレーキ操作の誤り	2	2	4	5
前・後方不注意	6	8	8	11
わき見運転	4	5	2	3
気象関連（風雨等）	4	5	1	1
落石	19	24	10	13
路肩決壊	2	2	0	0
その他	24	30	29	38
計	80	100	76	100

第3表 林道利用目的別事故発生件数と割合

利用目的	令和3年度		令和4年度	
	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)
林業	10	13	10	13
レクリエーション	13	16	12	16
その他	57	71	54	71
計	80	100	76	100

第4表 管理瑕疵を問われた事故件数及びその割合

民・国別	区 分	令和3年度	令和4年度
民有林林道	事故件数 (A)	71 件	63 件
	管理瑕疵事故件数 (B)	35 件	25 件
	割合 (B/A)	49 %	40 %
国有林林道	事故件数 (C)	9 件	13 件
	管理瑕疵事故件数 (D)	4 件	9 件
	割合 (D/C)	44 %	69 %
計	総事故件数 (E=A+C)	80 件	76 件
	管理瑕疵事故件数 (F=B+D)	39 件	34 件
	割合 (F/E)	49 %	45 %

2 令和5年度の事業実行について

令和5年度の事業実行については、当年度の事業計画及び収支予算に基づき、近年の林道利用の実態、交通事故の発生状況等を踏まえつつ、林道交通安全に関する指導・普及啓発活動、林道施設点検管理業務及び林道通行者の損害賠償業務を中心として、林道における交通安全確保に資する活動を積極的に展開した。

国民と森林との関わりが益々深まる中で、安全、円滑かつ快適な林道交通環境の確保と適正な通行管理が強く要請されている昨今、当協会の果たすべき役割は大きく、今後とも林道管理者等と緊密な連携を図りつつ、林道における交通災害の未然防止等に万全を期す必要がある。

(1) 林道交通安全事業

ア 林道交通安全指導啓発活動について

林道管理者及び地域の市町村、交通関係諸団体等との緊密な連携の下、林道通行者に対する安全指導及び安全思想の普及啓発を図り、交通災害の未然防止に努めた。活動の主な内容は次のとおりである（「別紙1」参照）。

- ① 林道安全協会報の発行 (延べ 13,650 部)
- ② 林道交通安全チラシの配布 (13,600 枚)
- ③ 林道交通安全のぼり旗の掲揚 (576 本)
- ④ HP「林道安全の広場」による普及啓発、情報提供等

これらの活動と並行して、宣伝カーによる交通安全の呼びかけや各種研修会への講師派遣などにより、指導・普及啓発活動を効果的に実施した。

特に林道昼間ライト点灯運動については、交通安全の呼びかけ時等に、マグネットステッカー『昼間ライト点灯中』の車両貼り付けやポケットティッシュ『林道では昼間もライトの点灯を』の配布を行うなど、積極的に推進した。

イ 林道等交通安全指導・施設点検管理事業について

林道管理者（各森林管理局長・森林管理署長等）と林道等交通安全指導業務及び施設点検管理業務の実施に関する契約を締結し、以下の事業を実施した（「別紙1」参照）。

また、林道等交通安全指導業務を受注した林道については、管理瑕疵責任を負わなければならない交通事故が発生した場合に備え、林道賠償責任保険の契約により林道通行者の損害賠償に万全を期した（「別紙2」参照）。

- ① 林道交通の安全指導及び安全思想の普及啓発
- ② 安全標識等の設置
- ③ 林道交通に関する実態調査
- ④ 林道交通事故の調査分析
- ⑤ 林道交通事故の被災者補償
- ⑥ 林道施設等の点検調査（林道施設等の点検・診断、交通安全施設・安全標識等の現況把握等）

（2）林道標識類等の販売等

レクリエーション利用等一般の通行者の利用が増加している林道交通の実態等も踏まえ、通行者への的確な交通安全情報の提供に必要な林道交通安全の標識類や安全教材等の販売等を行った。

3 会議及び主な行事活動等

(1) 会議等

年月日	会議内容等	開催場所等
令和5年		
4. 17	監事会（令和4年度決算監査）	永田町ビル
4. 26	令和5年度第1回理事会	書面決議
5. 25	令和5年度定時総会	東京ガーデンパレス
5. 25	令和5年度第2回・第3回理事会	〃
5. 25	令和5年度支所長等会議	〃
令和6年		
2. 16	令和5年度第4回理事会	東京ガーデンパレス

(2) 主な行事活動等

年月日	主催・参加行事等	開催場所等
令和5年		
6. 7	令和5年度林道研究会総会	都内
6. 9	（公社）森林・自然環境技術教育研究センター令和5年度通常総会	〃
7. 11	林道連絡協議会（四国森林管理局・四万十地区）	四万十市
9. 26	令和5年9月期林業団体懇談会	都内
9. 27	第58回林道研究発表会	〃
～28		
10. 4	林道交通安全連絡協議会（関東森林管理局・会津地区）	会津若松市
11. 22	2023 治山・林道のつどい	都内
令和6年		
1. 4	令和6年林業関係団体賀詞交換会	都内
1. 19	令和6年1月期林業団体懇談会	〃
2. 1	林道交通安全連絡協議会（北海道森林管理局・旭川地区）	旭川市
2. 8	林道交通安全連絡協議会（北海道森林管理局・札幌地区）	札幌市
2. 13	林道交通安全連絡協議会（北海道森林管理局・帯広地区）	十勝郡浦幌町
2. 20	林道交通安全連絡協議会（中部森林管理局・富山地区）	富山市
2. 27	林道交通安全連絡協議会（北海道森林管理局・北見地区）	北見市
2. 27	林道交通安全連絡協議会（中部森林管理局・中信地区）	松本市
2. 28	（一社）日本林業協会第11回定時総会	都内
3. 4	林道交通安全連絡協議会（近畿中国森林管理局・兵庫地区）	宍粟市
3. 6	林道交通安全連絡協議会（北海道森林管理局・函館地区）	二世郡八雲町

〔参考〕 会員数の動向

令和5年度の会員数（令和5年度末現在）は、普通会员1,667名、賛助会員164名の合計1,831名であり、前年度から37名の減となった。

内訳としては、普通会员は退会32名で32名の減、賛助会員は退会5名で5名の減となっている。

会員の減少については、林道利用者の廃業等厳しい経営状況を反映したものと考えられるが、地域社会における林道利用の重要性等も踏まえ、今後とも会員の維持や加入促進を図る必要がある。

令和5年度会員数

年度	令和4年度 (R5.3.31現在)			令和5年度 (R6.3.31現在)			増 減					
	普通 会員	賛助 会員	計	普通 会員	賛助 会員	計	普通 会員		賛助 会員		計	
増							減	増	減	増	減	
会員数	1,699	169	1,868	1,667	164	1,831	0	32	0	5	0	37